

時事教養塾

— 3月は全講座が無料です —

3月オンライン無料講座の御案内（中高生：新中1以上）

2022年度の中学生・高校生の保護者の皆様

このたび、3月のオンライン講座を、2022年度の中学生・高校生の保護者の皆様向けに、以下のように御用意させていただきましたので、御案内申し上げます。
今回ご用意する3月の講座は、4月以降の講座の体験講座として、全て無料とさせていただきます。お気軽に御利用下さい。

- ・「ニュース解説講座」：週2回、週3回、週5回各コースで、日々のニュースを解説
- ・「ニュース発表講座」：時事問題をテーマに、自分の意見を発表して質疑（週1回）
- ・「エッセイ講座」：時事問題をテーマとしたエッセイ（小論文）作成指導（週1回）
- ・「洋書講読講座」：半年間で1冊の洋書の重要な部分を読み、全体の概要を理解（隔週）
- ・「西洋古典講座」：西洋の古典を読み、感想の発表、講師の解説（4月以降も無料・隔週）

いずれの講座でも、発表の場を設ける等、思考力や表現力を育てることを重視してまいります。詳細は各講座の御案内を御参照下さい。

毎回の授業を録画して、受講者の方は一定期間、いつでも視聴可能な形にさせていただきます。講座での授業時間に御都合のつかない皆様も、お申し込み可能です。

また、どの講座の授業も、保護者の方が一緒に受講できますし、お子様の御都合がつかない日は、代理で保護者の方のみの受講も可能です。

各講座で、国内外の代表的なメディアが取り上げた主要ニュース5本を選び、それぞれに関する解説を、毎日、「ニュース・ブリーフ」として、受講生・保護者の皆様に送信します。

ニュース・ブリーフでは、ニュースを中高生向けに分かりやすい言葉で説明し、背景知識や歴史的経緯の解説を行い、情報源となる官公庁等のリンクや、外国政府資料の英語原文等も付しています。時事問題について、自分で調べ考える力を身に付けることができます。

この機会に、時事教養塾の講座を御検討のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

時事教養塾 塾長 内野耕太郎

【1】 各オンライン講座の御案内

1) ニュース解説講座（中高生・全学年対象）

毎回 30 分間、日々の主要ニュースを分かりやすく解説する講座です。定期的にニュースにふれる習慣、時事問題の基礎知識、そして、思考力・表現力を身につけることを目的としています。

各コース（週 2、3、5 回から選択）で、内外主要メディアが報じた各分野のニュースを、講師が分かりやすく解説します。ニュースに出てくる言葉や制度、背景知識につき、官公庁資料等も利用しながら解説します。

・毎日、主要ニュースに関する解説 5 本を、「ニュース・ブリーフ」（ニュースの概要と解説情報源等のリンク付メール）として、受講生・保護者に送信します。オンライン授業では、ニュース・ブリーフに、政府資料などを追加した教材を利用して解説します。

・毎回、解説終了時に、どのニュースに興味を持ったか、どこに興味を感じたかを聞き、意見があれば短時間発表してもらいます。

・海外ニュース解説の際に、ニュース・ブリーフで取り上げた英文資料の英語についても、ふれていきます。米国・英国政府や EU、国連等の発表の英語原文に接して、生きた英語をリアルタイムで学ぶことができます。

日々のニュースから時事問題について基礎知識を身に付け、思考力、表現力等を養う機会としていただくため、御検討いただければ幸いです。

・月曜～金曜の夜に、スカイプのオンライン授業で、主要ニュースを解説します。部活や塾等と両立可能なように、時間帯は 21 時 15 分からと遅めに設定して、1 回の授業も 30 分間のみとしております。すきま時間の活用としても御利用いただけます。

授業録画を 1 か月保存、受講者とその保護者はいつでも視聴可能です（1 か月で消去）。

※受講期間：3 月 7 日（月）～3 月 25 日（金）

※受講コース・時間帯：以下より選択 **時間帯が少し変わりますので御注意下さい。**

・週 2 回コース（曜日は月～金から選択） **21:15～21:45**

・週 3 回コース（曜日は月～金から選択） **21:15～21:45**

・週 5 回コース（曜日は月～金の毎日） **21:15～21:45**

※授業料：無料です。

2) ニュース発表講座 (中高生・全学年対象)

日々のニュースで扱われる時事問題につき、受講者が自分の意見を考えて、他人に分かりやすく伝える力をつけるための講座です。

時事問題にもとづく課題を講師が解説し、次の週に、受講者がその時事問題に関する意見を発表します。発表後の質疑で、講師が質問をして、他の受講生の意見も聞いてみます。

毎週日曜夜、45分ずつの講座です。

※3学期講座での課題の例：各テーマにつき、論点や資料を事前に授業で提示、翌週発表)

- ・外国人の地方参政権について
- ・成人年齢の引き下げについて

学校での自由課題でのレポート作成や、高校・大学入試の小論文・面接の時事問題対策等、様々な場面で応用可能な知識・考え方が身につく、発表をする力も養えます。

・毎週日曜、スカイプのオンライン授業で行います。時事問題(課題)解説には、官公庁ウェブサイト等の資料や、メディア報道の引用等も利用します。

・毎日、主要ニュースに関する解説5本を、「ニュース・ブリーフ」(ニュースの概要と解説、情報源等のリンク付メール)として、受講生・保護者に送信します。

※受講期間・時間帯

・3月6日(日)～3月27日(日) 毎週日曜日 20:00～20:45

授業録画を1か月保存、受講者とその保護者はいつでも視聴可能です(1か月で消去)。

※授業料：無料です。

3) エッセイ講座 (高校生・新中学3年生対象)

受講生の興味・必要に応じて、講師がアドバイスのうえ、時事問題や社会問題のテーマを指定して、エッセイ(小論文)を作成し、口頭でプレゼンできるように指導を行う講座です。1~3人の少人数指導で実施します。

形式としては、① 毎日、主要ニュースの解説(ニュース・ブリーフ)をメールで配信、② 3月中に3回、1回2時間、受講生・講師が話し合っただめたテーマでプレゼンとエッセイ作成を行い、内容を添削等で指導、という形になります。

授業はオンラインで行います。相談して決めたテーマにつき、口頭でプレゼンを行い、指導をした後に、エッセイの作成・添削を行います。エッセイ作成は、受講生の希望により、授業中に作成するか、あらかじめ課題として作成します。添削指導は、当該問題の理解度、文章の構成力、説得力、日本語としての表現の正確さ、分かりやすさ等の視点から行います。時事問題の資料の調査方法等も指導いたします。

将来のあらゆる場面での思考力、分析力、表現力を育てる手段として、また、大学受験等の小論文・面接対策として、是非ご活用ください。

※講座概要

- ・国内外の主要メディアから主要ニュース5本を選び、毎日、「ニュース・ブリーフ」(ニュースの概要に、情報源のリンクと解説を付けたメール)として、受講生・保護者に送信。
- ・講座期間中に3回、受講生の希望日(申込時に決定、原則として土・日)に、スカイプのオンライン授業で、希望するテーマ(時事問題)について、プレゼンとエッセイの指導。

※講座期間：3月6日(日)~3月27日(日)

- ・月曜~金曜 17:00~19:00
- ・土曜①14:30~16:30、②17:00~19:00、③20:00~22:00
- ・日曜 14:30~16:30

※授業料：無料です。

4) 洋書講読講座（書籍購入代以外は無料、高校生・新中学3年生対象）

半年間で洋書を一冊、重要な部分を読んで、全体の概要を理解する講座です。

（4月の本講座で、続けて読んでいきます。）

内容は、①以下の課題図書の指定部分を受講生が事前に読み、②レクチャー方式の授業で内容を理解したうえで、③受講生が感想を自由に発表する、という形となります。

（全員で読むのは重要な部分のみですが、自発的に全部読む形での参加もできます）

※課題図書：

・ Michael J. Sandel “The Tyranny of Merit: What’s Become of the Common Good?” (2020)

（ハードカバー、ペーパーバック、Kindle、いずれも可）

（翻訳：マイケル・サンデル『実力も運のうち 能力主義は正義か?』鬼澤忍訳、早川書房 2021年）

著者のマイケル・サンデル氏は世界的に著名な政治哲学者で、ハーヴァード大学教授です。日本では、『これからの「正義」の話をしよう』などの著書や、NHK教育テレビ（現NHK Eテレ）番組「ハーバード白熱教室」等でも知られています。

上記著書は、本来は機会の平等を保障するための「能力主義」が、かえって社会の分断を招いているのではないかという問題意識から、能力主義という考え方の歴史と、欧米の能力主義の実態や弊害を広範に論じ、改革の方向性の提言も行っています。

本書の英文は比較的平易で、英文法の学習がおおむね終わっていれば、辞書を引きながら、それほど苦勞せずに読めます。中高生に無理のないペースで、分かりやすく重要な部分をピックアップして読み進めて、内容の解説を行います。英文多読の機会となりますし、洋書や海外メディアの情報を、どんどん自分から読んでいく自信や意欲もつきます。

この本を読むと、教育や経済格差等の問題について理解を深めることができますし、豊富なデータや具体的なエピソード等につれて、特にアメリカの社会や政治・経済の現状を知ることができます。著者の主張への賛否を考えて、自分の意見を発表する練習も行います。

以下の要領で開講致しますので、ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

（受講生は第1回までに上記課題図書をご購入いただきます）

・ 第1回 3月13日（日）17:00～18:00 予備知識の解説、次回までに読む部分の指定

・ 第2回 3月27日（日）17:00～18:00 指定部分の解説、内容について感想の発表

授業録画を1か月保存、受講者とその保護者はいつでも視聴可能です（1か月で消去）。

5) 西洋古典講座（書籍購入代以外は無料、全学年対象）

一般教養を身に付ける講座の一つとして、昨年度に続き、西洋古典講座を開講します。

西洋の文学や思想に関する古典的な著作を、受講生といっしょに読み、感想を発表してもらい、作品の楽しみ方や、時代背景、後世への影響等について解説する講座です。

今年度も、年間を通じて無料となりますので、お気軽にご参加ください。

西洋の古典を学ぶと、現代文の難解な評論文の理解が容易になり、小論文で自分の書くべきテーマを考えやすくなり、世界史、倫理等の知識が自然に身につく、英語をはじめ外国語の勉強に興味が出る等、学校の勉強や大学入試のためだけでも、多くのメリットがあります。

AI時代に必要とされるコンテンツ創造能力を育てるためにも、西洋の知的遺産に中学生・高校生から親しみ、自分で考える力を育てることは有用です。

昨年度は、古代ギリシャ・ローマの古典を読んだので、今年度は、中世、ルネッサンス、近代初頭の文学を読んでいきます。毎回、読んだ部分について簡単に感想を発表してもらい、講師が作品の内容をおさらいし、世界史や倫理の関連部分を解説し作品の後世への影響や現代での評価等を紹介します。

3月は、中世叙事詩の代表作の一つで「ドイツのイーリアス」とも言われている『ニーベルンゲンの歌』（作者不詳）を読みます。ワーグナーのオペラ「ニーベルングの指輪」など、後世にも多くの影響を与えた古典です。

以下の文庫本を、受講前にあらかじめご購入いただきますよう、お願い致します。

開講まで読まなくても大丈夫です。授業料は無料ですが、書籍購入代のみ、御負担をお願い申し上げます。

※課題図書

・『ニーベルンゲンの歌 前編・後編』石川栄作訳（ちくま文庫）

以下の要領で開講致しますので、ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

（受講生は第1回までに上記課題図書をご購入いただきます）

- ・ 第1回：3月6日（日）17:00～18:00 予備知識の解説（次回までに「前編」読了）
- ・ 第2回：3月20日（日）17:00～18:00 前編の感想発表と解説（次回までに「後編」読了）
- ・ 第3回：4月3日（日）17:00～18:00 全編の感想発表と解説

授業録画を1か月保存、受講者とその保護者はいつでも視聴可能です（1か月で消去）。

【2】各オンライン講座のお申し込み方法

(1) お申し込み方法：メールでのお申し込みをお願い致します。

これまでに受講いただいた方は、受講希望講座のみお書きいただければ結構です。

1) 受講希望講座、2) 受講者氏名（漢字・フリガナ・学年）、3) 保護者氏名（漢字・フリガナ）、4) 保護者電話番号をご記入の上、以下のアドレスまで、お申し込みください。

kotarouchino1101@gmail.com

・受講希望講座の記入例：

「ニュース解説週3回（月水金）」、「ニュース発表」、「エッセイ」、「洋書講読」、「西洋古典」
ニュース解説講座については、週何回のコースか、及び、御希望の曜日（週2回、週3回コースの場合）をご記入ください。これまで受講いただいた方も、よろしくお願ひします。

複数お申し込みの場合は、講座名を並べてお書きください（例：「ニュース解説週5回、ニュース発表」、「ニュース解説週2回（月木）、洋書講読」、「エッセイ、西洋古典」等）。

・お申し込み時に、2022年4月からの学年もご記入をお願い致します。

・各講座の途中入会も可能です。御希望の際は、お気軽にお問い合わせください。

申込先・お問い合わせ先

時事教養塾 塾長 内野耕太郎 kotarouchino1101@gmail.com tel:090-4532-6358

※森上教育研究所では受付をしておりませんのでご注意ください。

塾長・講師住所：〒164-0001 東京都中野区中野 2-1-6-302

略歴：

1966年東京生まれ。

・学歴：私立武蔵中学・高校卒、東京大学法学部卒、青山学院大学大学院経済学研究科修士課程修了、慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程を単位取得満期退学。

・職歴：青山学院大学経済学部助手、神戸大学大学院法学研究科研究員、海陽学園ハウスマスター・教諭（公民と高3文系・理系の小論文担当）、成蹊大学、横浜商科大学等で非常勤講師（財政学、経済政策等）を経験。医学部受験予備校でも小論文・面接対策を経験。

・以下の参考書作成に基礎調査で協力

神尾雄一郎(著), 箕曲在弘(監修)「改訂版 書くべきネタが思いつく 看護医療系小論文 頻出テーマ 15」
(KADOKAWA)

神尾雄一郎(著), 箕曲在弘(監修)「改訂版 書き方のコツがよくわかる 医系小論文 頻出テーマ 20」
(KADOKAWA)